

# 進路指導室へようこそ2

前橋女子高校進路指導部

令和6年度 MJ 進路通信 第3号

令和6年4月19日(金)発行

## ■令和6年度 MJ キャリアプラスの取り組みについて

Project	A 外部英語資格取得	B ボランティア	C SSH (探究活動)	D インターンシップ	E 外部の主体的活動	F 大学・研究室訪問	G 教養を深める
獲得する 資質	表現力	主体性・協働	主体性・協働・深い学び	主体性・協働・職業観	主体性・協働・深い学び	主体性・深い学び	深い学び
具体的な 活動	英検、TEAP、GTEC、TOEFL、TOEIC等の資格取得	休日、長期休業を利用したボランティア活動	SSHの探究活動 SS-Lectureやコンテストへの参加	病院、企業でのインターンシップ (職業体験)	明石塾、外交官プログラム、地域連携、留学	研究室訪問や高大連携講座への参加	読書。社会・学問の背景知識や(英語以外の)検定取得ex.世界遺産、簿記
大学入試 での使い どころ※	・英語の得点化、免除 ・受験資格	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接・表彰	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」 として記述 ・面接
こんな 目的、 こんな 意識で Careerを 獲得して いこう!	資格取得、そして大学入試で得点化、受験機会増となる外部英語資格。一発勝負の「共通テスト」の保険にもなる。毎週受けられる検定もある(英検S-CBT)。「級、スコア」を獲得して、ライバルの「一歩先へ」。	社会とのつながりを意識でき、互助・奉仕の精神を育める。高いハードルに感じるが、まずは一歩踏み出す。自治体に問い合わせると、ボランティアを紹介してくれる。自分にしか語れない経験を!	SS-Lecture、コンテストに積極的に参加しよう。SSHの探究活動において、課題や仮説、条件の設定、実験、協同研究...その過程が学びとなる。うまくいかなかった時こそ「成長する瞬間」だ。	5年、10年後の自分がイメージでき、そこに向け自分をどう磨いていくかのスイッチとなる。ただ参加するだけでなく、参加後どのような考え方、見方になったかまでがこの学び!	学校で学んだ知識が実際の社会でどう使うのか、正解が一つでない現実の問題にどうアプローチしていくのかななどを「実践的、主体的」に活動できるプログラムにチャレンジ。	本やHPでの調べやオープンキャンパスからもう一歩踏み込もう。ゼミが体験できる「研究室訪問」や高大連携講座の受講で、大学の学びやレベルの高い専門知識を知り、見聞を広めよう。	「この本に出会い、どのように世界が変わって何を得たか」を語れるように。数学検定など色々な検定に挑戦するのもいいね。志望する職種、学部の背景知識、時事問題を知り、自身がどう関わり、どう考えるのかをまとめるんだ。

各学年集会で、「MJ キャリアプラス」の説明会を行いました。新しい入試で重視される「学力の3要素」のうち、「協働、主体的で深い学び」に注目し、入試までに「学校生活以外で自主的に取り組んだキャリアを1つもとう」というコンセプトで立ち上げた企画です。GW の時間を利用して、7つのパッケージからまずは自分の取り組みたいプロジェクトを選びましょう。そして、取り組む企画や時期などについて計画をたてましょう。受験直前になって、「志願理由書に書くことがない」「面接で話すネタがない」とならないよう、今から少しずつ材料をストックしていきましょう。受験の手続きの際、志願理由書が必要になることが多いですが、その時に、「このプロジェクトでまとめたことをそのまま記載すれば志願理由書になる」ことが理想です。

卒業した先輩たちも、キャリアプラスの活動を積極的に活用し、受験でもアピールポイントとしたほか、大学でもその学びの手法を活かして新たな学びに進んでいます。是非自分で「自分自身のキャリアを高める」活動を見つけて、貪欲に学びを進めていってほしいと思います。

### 先輩たちの声

- ・SSHの実験に積極的に取り組みました。大学の教授も集まっており、専門的な実験を行ったことで、研究への興味が大きくなりました。(慶応義塾大 Tさん)
- ・私は文系クラスでしたが、SSレクチャーによく参加しました。菅平高原の実習や、DNAのレクチャーは、生物基礎でも十分理解できる内容だったので、3年の生物基礎の受験勉強も抵抗なくできました。
- ・SSレクチャーに積極的に参加しました。群馬大学を志望校としていたので、重粒子線施設を見学したことや科学的探究の研究について志願理由書に書きました。(群馬大 Hさん)
- ・GUNMA youth leader program や GUNMA love myself project (健康啓発活動) や、医師体験などに参加しました。面接の時に自分が頑張ってきたことを堂々と話すことができ、特に私大受験の時には面接官に「勉強だけでなく、いろいろやってきたんだね」と褒められました。(東北大 Yさん)
- ・数学に「統計的な推測」という新しい分野が入ってきたので、統計検定に挑戦しました。教科書との重複が多かったので勉強しやすく、3級に合格しました。統計分野の全体像が見えるようになりました。(進路指導部 Jさん)
- ・英検に積極的に取り組んだほか、高校模擬国連大会などにも参加しました。AO入試の志願理由書を書くのに役立ちました。大学に入ってから様々な活動に取り組む姿勢につながっています。(東北大 Kさん)
- ・テニス部の活動の一環として、キッズテニスのボランティアをやりました。子供たちと一緒にテニスをすることで、あらためて競技の楽しさを感じました。(テニス部 Kさん)
- ・つくばサイエンスツアーに参加したことで興味が広がり大学で関連した内容の授業をとりました。(金沢大 Mさん)